

開館にあたって

2000年10月6日13時30分 ——

鳥取県西部を震源とする、マグニチュード7.3の「鳥取県西部地震」が起きました。この地震で、日野町と境港市では最大震度6強を記録し、西部を中心とした鳥取県内各地はもとより、岡山県、島根県に渡って甚大な被害をもたらしました。

住宅再建のための補助支援制度など公的な支援、近所での助け合いという地震以前から引き継がれてきた人のつながり、そして県内外から駆け付けた大勢のボランティアによる救援・復旧活動…。最大の被災地・日野町の住民をはじめ、被災した一人ひとりが、さまざまな支援をも糧にしながら生活を立て直し、今日に至っています。

鳥取県西部地震から6年——

当時の記憶が少しずつ風化してきている中、また全国で毎年大きな災害が発生している昨今、被災とそこからの復興の過程で経験してきたこと、教訓を振り返って後世に継承し、「防災力」を高める取り組みに生かしていくことがますます大切になってきています。

ここに「鳥取県西部地震展示交流センター」を開館し、もっとも被害が大きかった日野町の住民や災害ボランティアなどが集って被災体験などを語り、情報の共有や発信をしていく拠点としていきます。

「鳥取県西部地震展示交流センター」は、写真・図書・映像等の資料を展示するとともに、当センターでの日常的な語らいや座談会・研修会などの催しを通して多くの交流を生み、被災体験・教訓を伝承していく場としていきます。

多くの方がそれぞれの体験や資料などを持ち寄り、ともに創っていく「場」となることを望んでいます。

2006年10月6日

鳥取県

日野ボランティア・ネットワーク

鳥取県西部地震をはじめとした、被災・復興活動の写真や資料、映像を視聴できます。



西部地震に関する記録集、他地域の被災・防災資料、防災に関する図書を閲覧できます。



1

観て

学び合う

調べ

2

3

語り

共に

4

展示物を見ながら被災体験を語り合う。交流は備えへの第一歩です。



講演・座談会や体験型の研修を行い、防災力の向上につながるよう、努めています。

